

現代の青年期を考える

*当財団(講座)は「臨床心理士」資格取得者の研修機会として、(公財)日本臨床心理士資格認定協会より「短期研修機会」(ワークショップ)の承認を受けております。<承認期間:平成29年7月1日~平成34年6月30日 承認番号:W29111>

期 日:2018年11月17日(土)・18日(日)

受講対象:小児科医師、精神科医師、臨床心理士、助産師、保健師、保育士、教師、社会福祉関係者など各機関・現場で子どもに関わる専門家および興味のある方々

定 員:80名(定員になり次第締切りますので、ホームページなどでご確認ください)

受講料:12,000円(税込み) ※昼食は各自おとりください

会 場:明治安田こころの健康財団 講義室 ※詳細地図は受講証に添付いたします

東京都豊島区高田3-19-10 ☎03-3986-7021

JR山手線・西武新宿線・東京メトロ東西線「高田馬場駅」下車徒歩約7分

主 催:公益財団法人 明治安田こころの健康財団

1960年代に登校拒否・思春期やせ症が登場したとき、中高年の精神科医・臨床心理家・教育関係者など専門家は、自らの青年期を問い直すかのように熱くなったものである。

ところが、21世紀の現在、再び青年期が深刻な時代を迎えているのに、それに心を寄せる専門家は少ないかのごとくである。

ここに、青年期が突き付ける諸問題にかかわっているエキスパートを集めて議論してもらうのも意義あることではないか、と企画した次第である。

【企画講師:ホヅミひもろぎクリニック院長 牛島 定信】

<プログラム>

日程	時間	テーマ	講師(敬称略)
11月17日(土)	14:00~15:30	青年期発達は今	ホヅミひもろぎクリニック 院長 牛島 定信
	15:45~17:15	青年期の暴力行為をめぐって	東京医科大学茨城医療センター精神科 科長・准教授 梶屋 二郎
11月18日(日)	9:00~10:30	児童精神科医療現場で出会う子どもたち~発達障害や小児期の逆境体験が子どもの人格発達に与える影響について~	国立国際医療研究センター国府台病院 児童精神科 牛島 洋景
	10:45~12:15	若者の性・性被害をめぐって	聖マリアンナ医科大学 神経精神科学 教室 安藤 久美子
	12:15~13:15	(昼食)各自おとりください	
	13:15~14:45	社会的文化的視点からみた青年期	筑波大学医学医療系社会精神保健学 教授 斎藤 環
	15:00~16:30	青年たちの自傷・依存行動	国立精神・神経医療研究センター 精神 保健研究所 薬物依存研究部 部長 松本 俊彦

※時間割・テーマ等が変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。